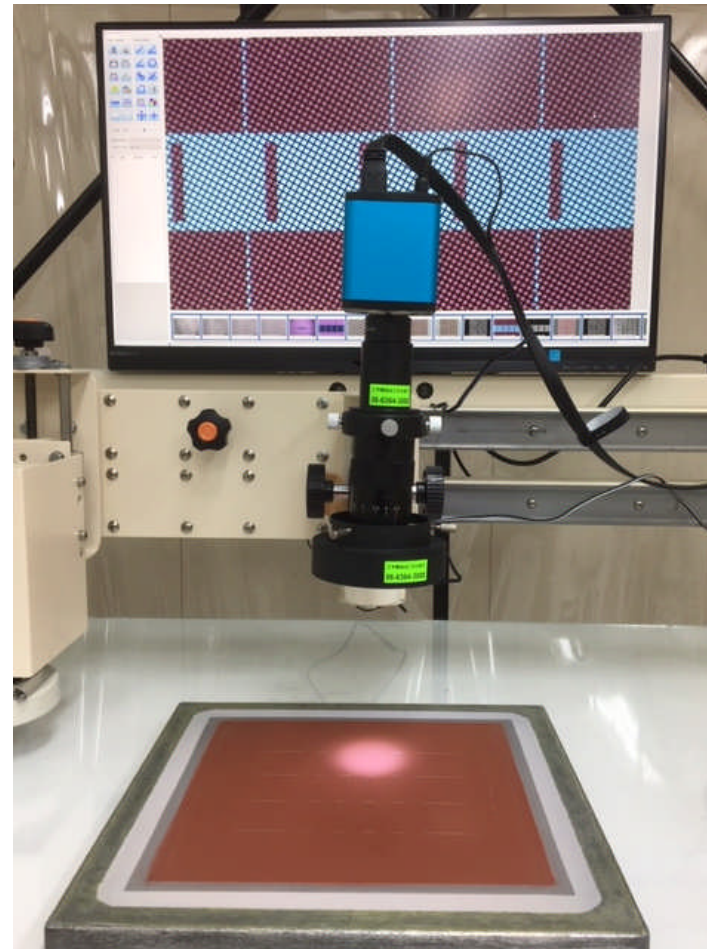


スクリーン外観検査装置 バージョンUP ITY-190220シリーズ 通常照明方式

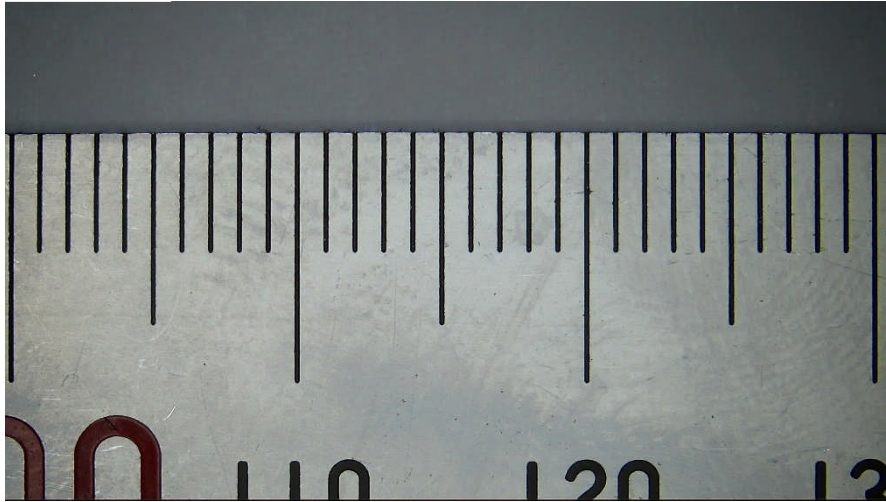
※通常照明方式とは一メッシュのオープニング部分が白く撮影されます。

1. 低倍率にて広い範囲で観察可能(範囲:30mm~50mm)且つ、低倍率でのモアレを解消する事が可能になりました。

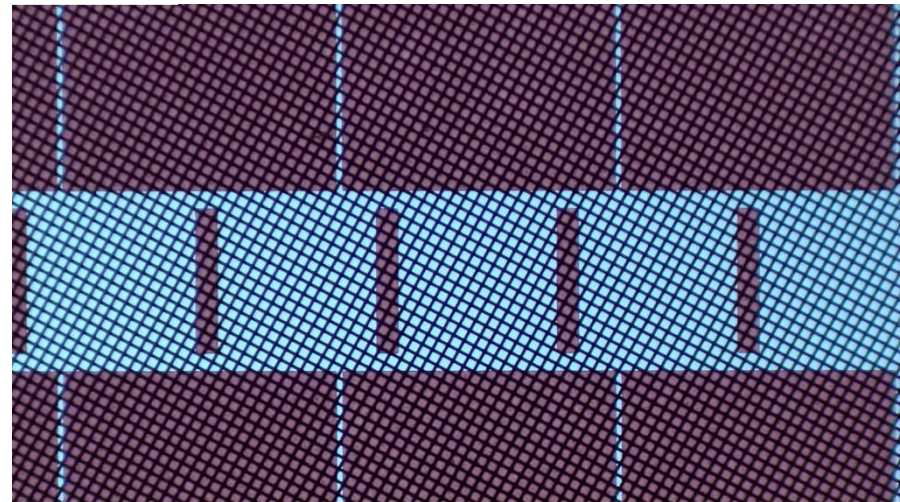
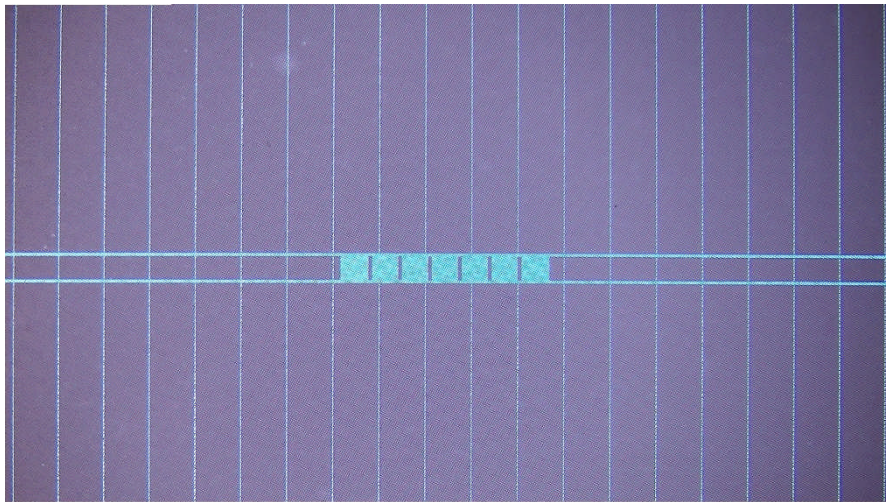
右のカメラに変更する事で
27インチモニター上で
最少17倍(範囲:約30mm)
最大115倍(範囲約4.5mm)で
観察が可能になります。
モアレも解消する事ができます。



【最少倍率:17倍 範圍:30mm】



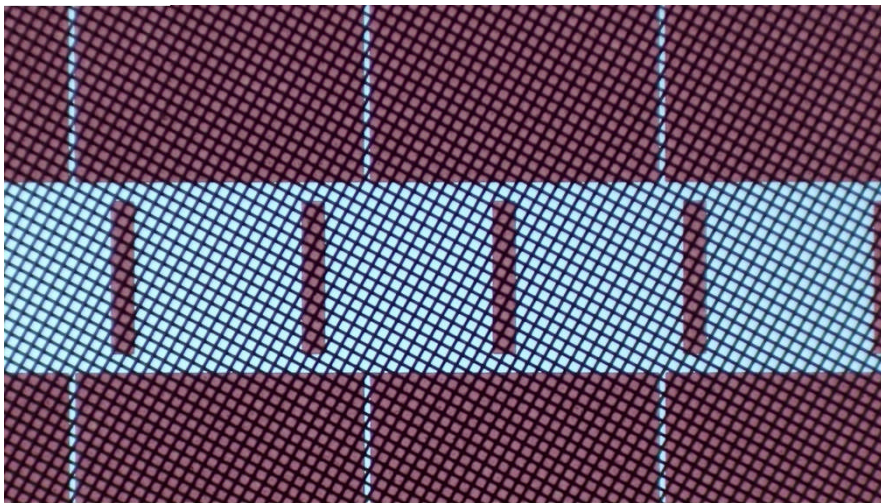
【最大倍率:115倍 範圍:4.5mm】



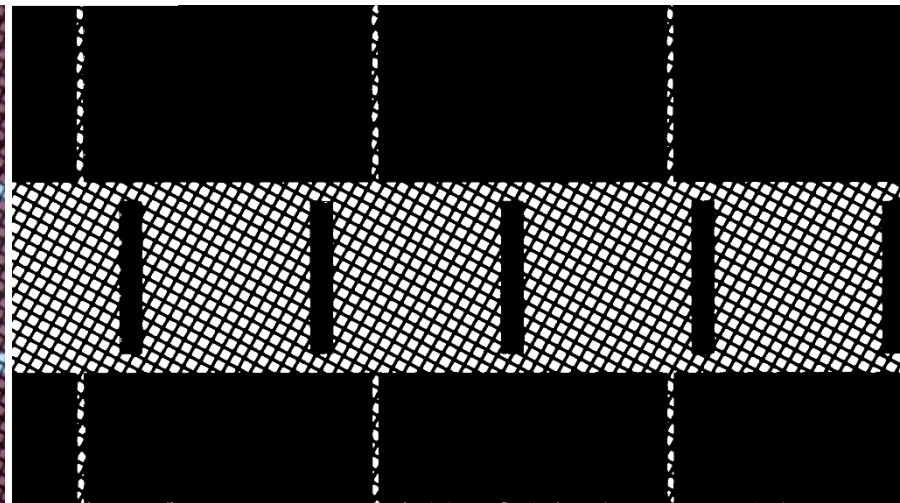
2. 二値化の画像で観察可能。

計測ソフトに二値化対応の機能が付いておりますので、
二値化画像表示が可能になりました。

【ITY検査装置画像】



【二値化画像】



3. PCのメモリー容量。

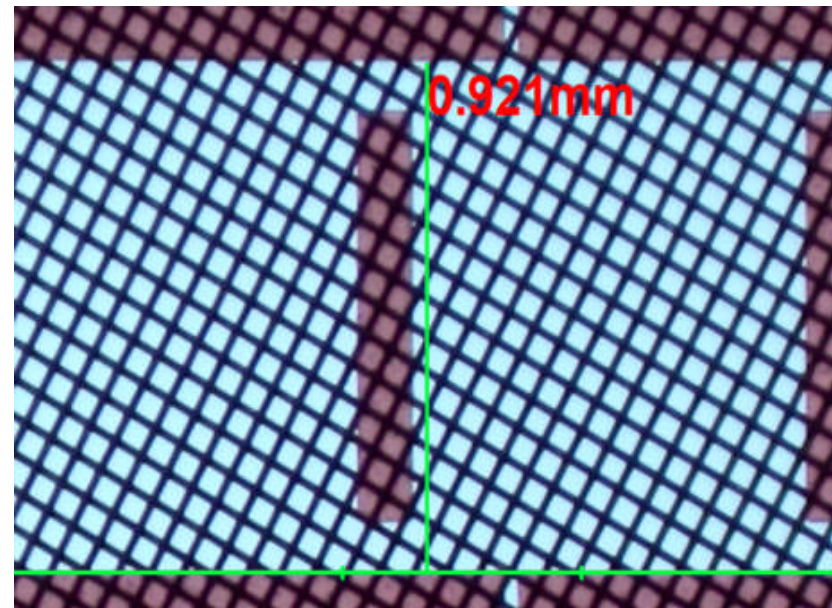
容量を増やすことも可能です。

4. 品種・枠サイズ毎も集計可能になりました。

品種・枠サイズ毎で集計するように新たにソフトを変更する事も可能です。
(新たにプログラムを組み直す事になる可能性もあります)

5. 寸法測定が可能になりました。

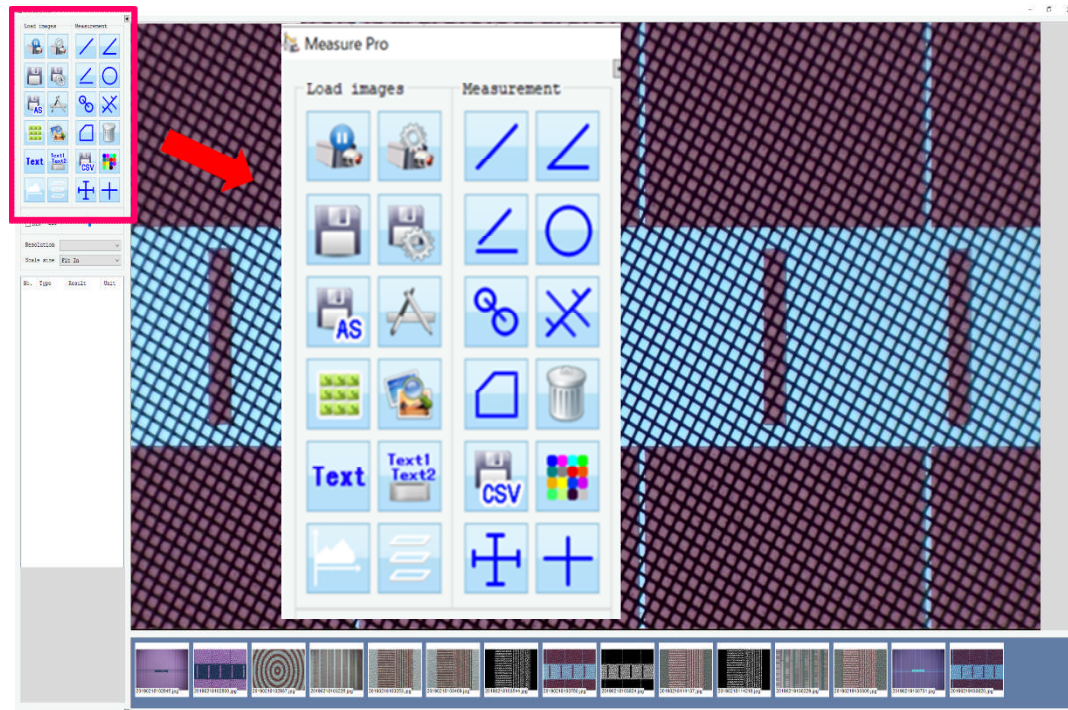
計測ソフトを追加する事で
右記写真のように寸法測定
が可能になります。



計測項目

- ・2点間距離
- ・2円間距離
- ・円直径
- ・角度
- ・垂線
- ・多角形面積

上記の測定が可能です



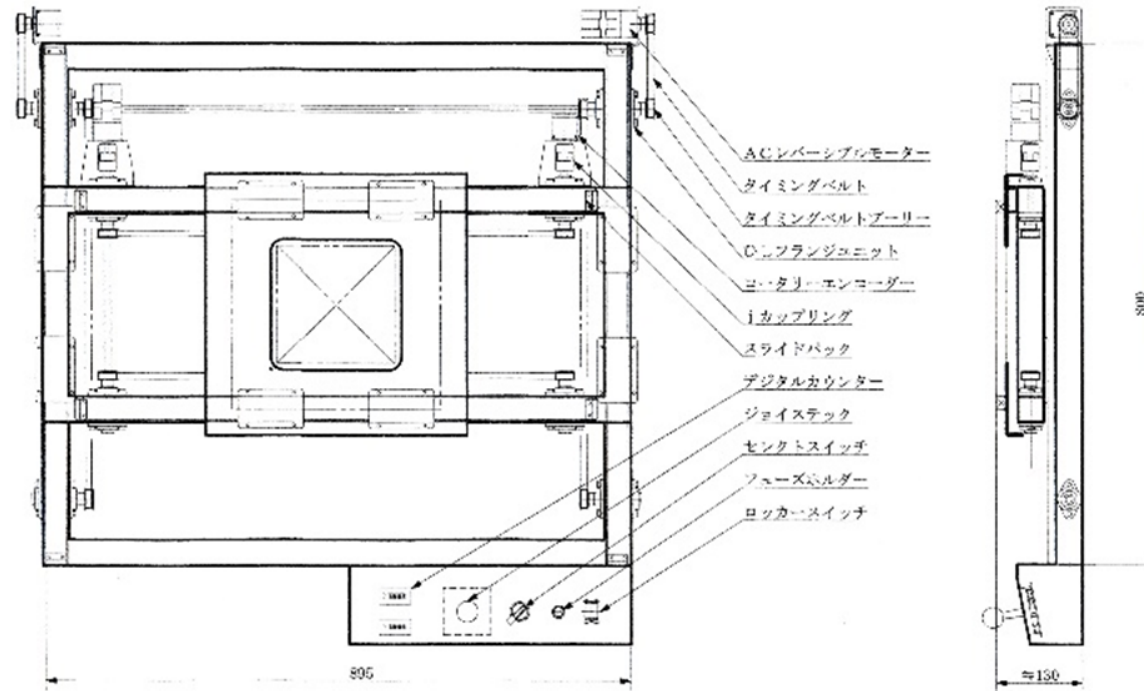
6. X・Yテーブルを付ける事も可能。

7. 座標値を表示可能。

◆6に関しましては、P7・8・9の計画図を作成。

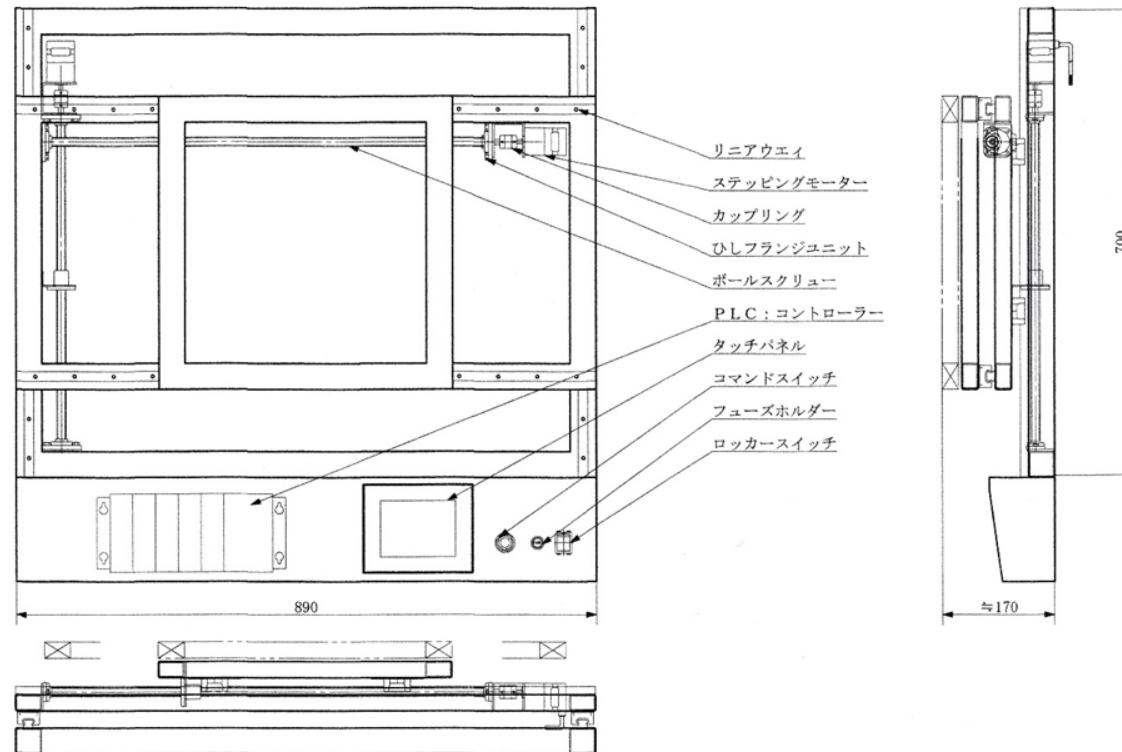
検査機・X-Yテーブル計画――第1案

この案は極力製造原価を抑え、X-Yの走行は手動で行い、座標はカウンター表示
簡易検査機の一部改造が必要となります。



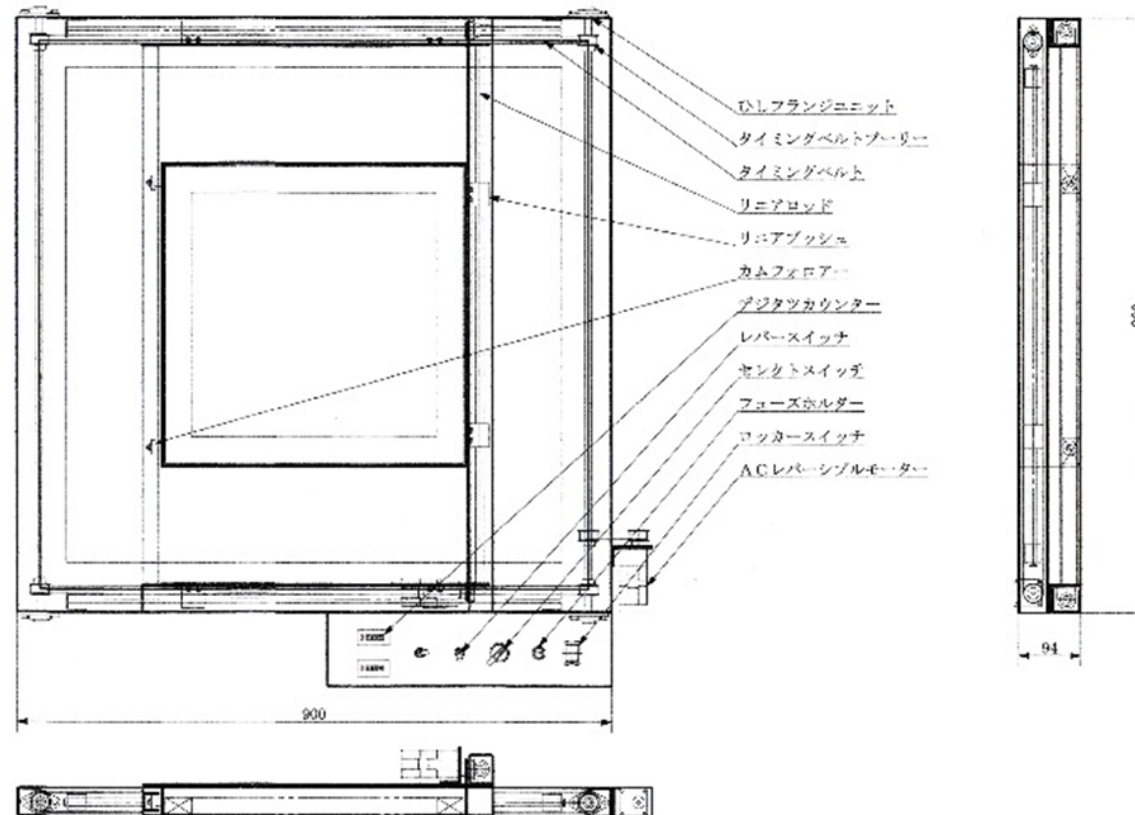
検査機・X-Yテーブル計画――第2案

この案はP L C ・タッチパネルを採用し、ピッチ走行など自動検査機並みの機能を追及します。
簡易検査機の一部改造が必要となります。



検査機・X-Yテーブル計画――第3案

この案はコスト低減を図り且つ、簡易検査機本体の改造を最小限に抑える為最小限の厚さとなるよう配慮



8. 115倍位の倍率でカメラ側で修正作業可能になりました。

右のカメラに変更する事で、対象物からの
焦点距離が約15cmになりますので
モニターを観察しながら修正作業を行う
ことが可能になります。

【最大倍率:115倍 範囲:4.5mm】

